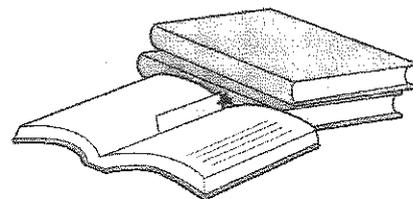
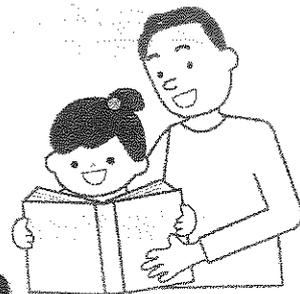


# 第3次 大阪市 子ども読書活動 推進計画



乳幼児期から読書に親しめる環境づくり、子どもと本とを結びつける人が身近にいる環境づくりを進めるため、子どもの読書活動を支援する取組みをまとめた「第3次 大阪市子ども読書活動推進計画」を平成30年3月に策定しました！すべての子どもが生き生きと読書を楽しめるよう、家庭、地域、学校が連携して取り組みます。

## 3つの基本方針

### 1 子どもの読書環境の整備・充実

大阪市のすべての子どもに読書に親しむ機会を提供するために、読書環境の整備・充実に努めます。

### 2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

子どもの読書活動を推進するための積極的な普及・啓発活動に努め、地域社会の理解と関心を深めます。また、「読書離れ」が進む中高生を中心とした若年層に向け、ICTの活用による情報収集やリテラシーへの関心を高めるための情報発信等様々な取組みを進めます。

### 3 人と本、人と人をつなぐ場の拡大

様々な場所で活動する読書活動支援ボランティアの交流の場を広げます。子どもたちが読後の感想を共有できる取組みを進めます。コミュニティづくりのきっかけともなる「本」「読書」が持つ潜在力を活かし、地域・市民が、子どもの読書活動を通して有機的に結びつき、子ども読書活動推進のネットワークを形成し、社会総がかりで子どもをはぐくむことを支援します。

## 小・中学生については…

- 学校図書館を学びの基盤と位置づけた教育の推進
- 学校図書館補助員・コーディネーターの配置 など

**目標** 大阪市図書標準(小学校7千冊・中学校8千冊)の維持、週当たり開館回数8回以上、など

- 子ども読書の日(4月)、大阪市図書館フェスティバル(秋)など、市立図書館でのイベント実施
- ツイッター・Facebook等SNSを使った読書に関する情報発信 など

**目標** SNSでの情報発信件数2千件以上 など

- はぐくみネット(小学校区)・学校元気アップ地域本部(中学校区)での読書活動の支援
- 学校図書館を活用した読書活動支援ボランティアによるおはなし会の開催や情報共有など連携の強化 など

**目標** 市立図書館と区役所、子育て支援施設等地域施設との連携事業回数2千回以上 など

詳しくは…… 報道発表資料「第3次大阪市子ども読書活動推進計画を策定しました」  
<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kyoiku/0000430143.html>



子ども読書推進計画に基づく、学校における読書活動の最大の実践の場が、学校図書館です。平成27年度から、学校図書館補助員の配置を柱とした「学校図書館活用推進事業」を実施しています。

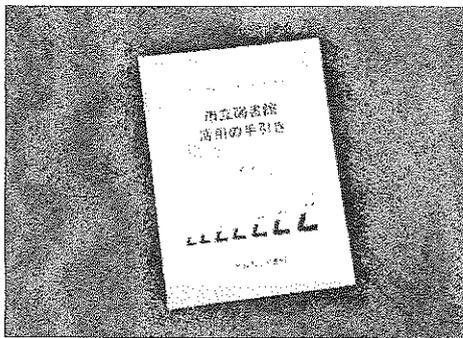
裏面では、4年目を迎えた「学校図書館活用推進事業」を紹介しています。

# 4年目を迎えた「学校図書館活用推進事業」

市立小中学校の学校図書館の環境整備や、読書活動の一層の推進に向けて、さまざまな支援を行っています

## 学校図書館補助員・コーディネーターの配置

- 全小中学校に週1回「学校図書館補助員」を配置しています。各校の状況に合わせて、学校図書館の開館、環境整備、読み聞かせ・学習支援などの業務にあたっています。
- 各市立図書館に「学校図書館補助員コーディネーター」を配置しています。補助員の業務を支援するとともに、学校図書館運営や読書活動に関する各校からの相談をお受けしています。

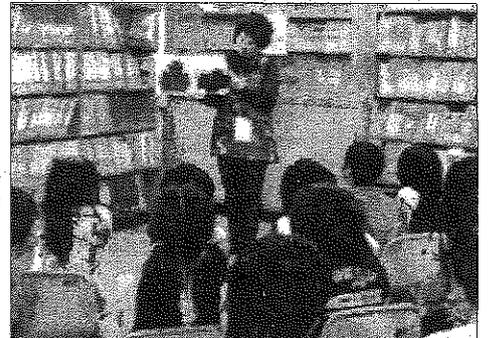


## 市立図書館による学校支援

- 各市立図書館では、調べ学習・一斉読書用の図書の団体貸出、図書館見学・職場体験学習(児童生徒)や社会体験研修(教員)の受入など、さまざまな学校支援を行っています。簡単な手続きで支援が受けられます。
- 詳しい支援内容や申込方法、活用例などをまとめた冊子『市立図書館活用の手引き』を作成し、校長会等で配布しているほか、市立図書館ホームページ(学校支援のページ)に電子版を掲載しています。(最新版は H28.4 の「第7版」)

## 学校図書館支援ボランティアへの支援

- 3,000人を超えるボランティアが、学校図書館で活躍しています。
- 学校図書館支援ボランティアを応援する「学校図書館支援ボランティア講座」を各市立図書館で随時開催しています。また、情報交換の場として、区単位で年1回程度「学校図書館実践交流会」を開催しています。開催日程が決まれば各学校宛に通知文をお送りしています。



## 先生方へのメッセージ

子どもたちは“先生のおすすめ本”が大好きです！

学校図書館活用や読書活動について、「単元や教材に合った図書を購入することで、本を使って調べ学習をすることが増えた」「学級文庫を学校図書館から貸出するやり方に変え、定期的に図書を入れ替えて飽きないようにしている」「“先生のおすすめ本”コーナーを作ると、いつも子どもたちでにぎわうようになった」などの声が各校から寄せられています。調べ学習や読書活動に力を入れることで、子どもにとって本を読むことが当たり前のことになり、言語力の向上、学力向上につながります。子どもに一番身近な先生おひとりおひとりが伝える読書の魅力は、子どもたちの心に届きます。力を合わせて、本好きの子どもを増やしていきましょう！ 補助員・コーディネーターをはじめとする市立図書館のサポートもぜひ活用ください。

●お問合せ● 大阪府教育委員会  
中央図書館 学校図書館支援グループ 06-6539-3307